

## 2019 年度事業報告

令和元年度は新5ヵ年行動計画の4年目、従来からの目標である「人を育て遺してゆく」、「作業療法士不在地域ゼロ作戦」に変わりはないが、「指定規則改定および臨床実習指導の変更にあわせた士会事業の推進」、「作業療法士＝士会員＝協会員」など、次の時代に向けて「地域・臨床での実践と科学」を、広く事業に取り入れた一年であった。

しかしながら、年度末から COVID-19 の影響にて事業を自粛せざるを得なく、新年度以降の事業計画に大きく反映せざるを得ない状況となった。

### ① 「人を育て遺してゆく」・「作業療法士不在地域ゼロ作戦」

住み慣れた街で自分らしく暮らす生活を支援する専門職として、「生活行為向上に資するマネジメント」を医療保険、介護保険、ならびに市町村事業などに積極的に展開するよう働きかけてきたが、3月現在にて OT 不在は 81 市町村 45% から 79 市町村 44% と、微増ながら十分とは言えない状況にて、とくに郡部での就労を支援してゆくことに引き続きご努力願いたい。

### ② 「巨大化・広域化している公益社団法人事業や業務の分掌分担の見直し」

および「作業療法士＝士会員＝協会員」

日本協会は、2022 年の施行に向けてロードマップを作成しているので、当士会が先に導入しているカードを用いた会員データベース管理方法との整合性を突き合せつつ、広大・寒冷・降雪・高齢・過疎・交通といった 6K 地域課題を有する北海道において、事業や業務の分掌分担を見直した。

### ③ 「指定規則改定および臨床実習指導の変更にあわせた士会事業の推進」

臨床実習指導者の育成に関しては、日本協会や PT 士会や養成校との協議の下で道内の複数地域において養成校や民間施設の協力を得ながら推進した。

### ④ 「地域・臨床での実践と科学」

6月に「作業療法の実践と科学～広がる適用 問われる効果」をテーマとした学術大会と研修大会は、多数の参加にて開催でき、地域における臨床に貢献することができた。

その他、以下の項目を重点に対応した。

- A) 会員データベース管理システムへの完全移行
- B) 事務管理業務のアウトソーシングも含めた再組織化
- C) 協会のモデル事業と連携し養成校学生を対象とした学生会員制度の導入等の試み
- D) 「介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会」への参加
- E) 研修会開催の多様化とともに、専門性と裾野の広さの構築

## 【事務局】

[総務部]

### 1.会議運営

- ・定期総会：2019年6月9日開催
- ・支部部局連絡会議：年1回開催

第1回 1月11日

・定例理事会：年3回

第1回 6月9日、第2回 11月30日、第3回 3月7日

・臨時理事会：年3回

第1回 4月27日、第2回 9月14日、第3回 9月1日、第4回 1月11日

・電磁的臨時理事会：年5回

第1回 10月2日、第2回 10月17日、第3回 10月21日、第4回 11月20日、第5回 3月30日

・常任理事会：年1回開催

第1回 7月20日

・三役会：年6回開催

第1回 4月27日、第2回 6月8日、第3回 9月12日、第4回 11月29日、  
第5回 1月11日、第6回 3月7日

2. 会員基本データの保守・管理

3. 定期刊行物の発送及び保管

・士会ニュース（隔月発行）の発送：年6回（5月、7月、9月、11月、1月、3月）

4. 公文書接受・発行：渉外関係、道士会部局員等委嘱状

5. 会計事務所との打合せ

6. 慶弔：祝電 24 件：養成校入学式 11 件、養成校卒業式 10 件、他 2 件

#### [財務部]

1. 2019 年度予算執行の管理

2. 2019 年度中間決算

3. 2019 年度収支決算書の作成

4. 2020 年度予算案の作成

#### 【渉外部】

1. 行政、他団体関連事業等への協力・提言

2. 儀礼・新年交礼会出席

3. 日本作業療法士協会・47 都道府県委員会との連携

4. 他団体等への委員、講師派遣、後援協力

5. 2020 年新年交礼会の企画・運営：2020 年 1 月 10 日（金）札幌グランドホテルにて開催

6. 公共事業関連の情報収集等

7. 北海道内の養成校において卒業生を対象とした日本作業療法士協会および北海道作業療法士会に関する説明会の実施

## 【学術部】

### [編集委員会]

1. 2019 年度[作業療法の実践と科学]の企画・編集・発行
  - 1) 電子版発刊：5 月末日，8 月末日，11 月末日，2 月末日
  - 2) 冊子版：2020 年 2 月に初刊発刊，3 月発送第 35 巻 4 号発刊にて終刊
2. 投稿論文促進の取組み
  - 1) 第 50 回北海道作業療法学会学術大会にて投稿募集のチラシ配布
  - 2) 第 50 回学会優秀演題発表者、論文化推奨者、ならびに課題研究助成者へ投稿促進のお手紙を送付
  - 3) ニュース(毎号)に、投稿論文募集の案内、PSOT 掲載論文のタイトル等の掲載
  - 4) LINE@に発刊のおしらせ、投稿募集を掲載
3. 優秀論文賞の選考審査
  - 1) 2019 年最優秀論文賞選考・決定

### [学術課]

1. 学術研究助成金について
  - 1) 2018 年度学術研究助成金報告書の公開（編集委員会と協業）
  - 2) 2019 年度学術研究助成金の助成
  - 3) 2020 年度学術研究助成金の募集・選考審査：応募なし
2. 生活行為向上マネジメントに関するデータの蓄積
  - 1) 会員に向け、ニュース・HP・研修会による事例の蓄積・データ化への協力依頼

## 【教育部】

研修会の開催や北海道作業療法士会認定会員研修施設を整備し、会員が研鑽できるようにした

1. 養成教育課
  - 1) 研修
    - ・研修回数は合計 45 回であった
    - ・参加者は 1～3 年目の参加者が多かった

- ・実技系の研修や平日開催は集客しやすかった
- ・現職者共通研修は募集人数を超える応募があった

① 北海道作業療法士会研修会	15回
② 現職者選択研修会	4回
③ 現職者共通研修会	6回
④ 重点課題研修	6回
⑤ MTDLP 基礎研修会	3回
⑥ MTDLP 事例検討会	6回
⑦ 全道研修会	2回
⑧ 臨床実習指導者講習会	3回

## 2) その他

- ・ホームページの更新
- ・道士会ニュース記事記載
- ・LINE の発信
- ・スマレジの管理
- ・事例登録の手続き管理
- ・生涯教育基礎ポイントの管理
- ・SIG 登録の手続き管理

## 2. 生涯教育課

- ・北海道作業療法士会認定会員研修施設一覧を更新作業中

### 【調査部】

1. 職能・職域に関する会員データの集約と定期的な統計情報公表（開示）に向けた運用の検討：制度対策部でおこなっていた「卒業生動向」を引き継ぎ、過去5年間のデータを蓄積。来年度以降も継続実施
2. ホームページ上でのセキュリティ強化に向けたシステム構築と関連部局への業務移管：ホームページの管理・運用を広報部へ完全移管、講習会予約ページへの入力を各部局・支部で行えるよう調整中、GMO クラウドのバージョンアップ実施
3. 50周年記念事業等に対する関連部局との協業：未実施

### 【広報部】

1. 会員外向け情報発信、他部局との協業

- ・入会促進、組織強化に関しては、養成校学生および会員外作業療法士へ向けた刊行物への情報提供等を実施（主に制度対策部と協業）
  - ・作業療法士志望者に関しては、UTURU12号を道内高校へ発送。UTURU13号の編集は漫画導入で継続。小・中学生への啓発は情報収集を実施
  - ・作業療法啓発に関しては、認知症リーフレットを編集作成
2. 会員向け情報発信、支部広報部との連携
    - ・道士会ニュース（奇数月）年6回の編集発行、webデータのホームページアップロードを実施
    - ・支部広報部との合同会議及び情報共有（9月に合同会議、12月にweb会議を実施）
  3. 会員内・外向け共通の情報発信、他部局との協業
    - ・LINE@の管理、運用：公式アカウントへの移行作業、発信作業、マニュアルやフォームの管理を実施。ホームページへの流入解析では調査部と協業。他県士会への情報提供
    - ・ホームページの管理、運用：調査部から引継ぎ（講習会予約ページ以外）、情報およびコンテンツ更新作業等を実施
    - ・情報発信の方法に関して：効率化、WEB化の情報収集と検討を継続
    - ・刊行物発行に使用するデータの収集：UTURU、認知症リーフレットへ使用。UTURUには道内養成校情報一覧を同梱
    - ・既存媒体の管理、補充、更新：リーフレット4種の更新と補充を実施。ノベルティは選定と補充のほか、在庫状況の調査、新グッズ検討を実施
    - ・50周年記念誌の編集発行
  4. 道士会事業の管理、提供：データ収集と保存。部局、支部への提供、50周年記念等への使用
  5. 部局内ガイドラインの管理、運用：承諾書の更新を実施

## 【事業部】

一般市民に向けた公益的活動、OT志望者増大のための啓発活動を継続し、精神科アドバンス研修会及び他職能団体(MSW、CM)へのMTDLP啓発研修会を開催した。

1. 公益的活動
  - ・道が主催する「次世代の担い手育成推進事業」における「福祉教育アドバイザー」派遣について、道内の小学校3件、中学校1件、高校2件、養護学校3件の計9件の派遣依頼に対応した。
  - ・いきいき福祉・健康フェア2019への参画した。（10/18～20）
  - ・北海道医療技術者団体連絡協議会主催(医技連)のパネル展への参画（8/17）、及び幹事団体として、他団体との連絡調整をした。
2. 啓発活動
  - ・OT見学可能施設一覧を道内高校に配布
  - ・札幌市小学生職業体験イベント「ミニさっぽろ」へ参画した(9/29～30)
  - ・一般市民向け作業療法啓発リーフレット検討開始

### 3. 研修事業 (MTDLP 啓発・アドバンス研修)

- ・ MTDLP 関連研修実施：書き方研修 1/11、生活行為向上リハビリテーション研修 12/14 を開催した。
- ・ 精神科領域のアドバンス研修開催 (1/25)

### 4. 支部連携強化

- ・ 連携強化及び課題共有に向けて支部事業部長と士会事業部間会議開催 (2/8)

## 【制度対策部】

1. 新会員歓迎会の開催：120 名参加
2. 第 50 回学会での託児運営の実施：8 名利用
3. 第 50 回学会での「みらいカフェ」の設置：外部講師招聘、「ミニライフプランセミナー」開催。  
また育児情報取得ブース・休憩スペースとしての認知度向上
4. 団体保険管理・運営・各種必要保険の調査
5. 施設情報誌の作成
6. 制度対策部主催研修会の開催：2020 年度診療報酬改定に関する研修を開催
7. 診療報酬相談・福利相談への対応
8. 入会リーフレットの管理・作成と配布
9. 学生サポートメンバーズカードの作成と配布：最終学年に加え最終学年－1 学年を加え配布
10. 学生対象無料開放研修会の開催 (学会・全道研修会包含)：計 6 回開催
11. 学生への道士会ニュース配布：養成校最終学年学生への道士会ニュース 11 月号配布
12. 養成校・養成校連絡協議会との連携
13. 市町村介護予防・日常生活支援総合事業等における作業療法士派遣のための名簿管理と登録推進
14. 市町村からの委託事業に関する事務作業の外部委託を契約更新

## 【地域部】

### [企画運営課]

1. 地域ケア会議及び介護予防・日常生活支援総合事業に資する作業療法士人材育成研修会の企画運営

室蘭：令和元年 10 月 19 日 (土曜日) 開催 受講者 19 名 (OT19 名)

帯広：令和元年 11 月 23 日 (土曜日) 開催 受講者 20 名 (OT20 名)

旭川：令和元年 12 月 7 日 (土曜日) 開催 受講者 29 名 (OT27 名、非会員 1 名、PT1 名)

札幌：令和 2 年 1 月 18 日 (土曜日) 開催 受講者 18 名 (OT18 名)

今年度受講者合計 86 名 (内、OT84 名)

2. 認定市町村アドバイザー養成と登録推進

延べ登録者数 12 名 (2 月 14 日現在)、令和元年は 2 名を認定した。

### [地域推進課]

1. 士会受託市町村事業および士会受託地域ケア会議の把握(地域作業療法推進に関する企画書および報告書の管理)
2. 地域ケア会議アドバイザー養成 OJT 研修会修了者の情報管理 (HARP との連携)

3. 「地域ケア会議および介護予防・日常生活支援総合事業に関する作業療法士人材育成研修会」受講者の情報管理
4. 士会認定市町村アドバイザーの登録管理と事例報告の管理
5. 地域作業療法推進のための普及活動：道士会ニュース 145 号 2019 年 9 月 1 日発行「地域で信頼される作業療法士になろう」、147 号 2020 年 1 月 1 日発行「地域で生活行為向上を支援できる OT になるために、みんなで市町村アドバイザーを目指そう」掲載

## 【常設委員会】

### [総会議事運営委員会]

1. 2019 年度定期総会開催（6/9 ロイトン札幌）
2. 2020 年度定期総会開催準備

### [学会評議委員会]

1. 2019 年度 第 50 回学会の支援
2. 2020 年度 第 51 回学会の支援
3. 2020 年度 第 51 回学会の学会長候補の選出
4. 「学会運営手引き（マニュアル）」の継続的な見直し
5. 2019 年度 第 50 回学術大会の参加者の動向調査（学会実行員会）
6. 北海道作業療法学会法人化についての検討

### [選挙管理委員会]

1. 2019 年度役員選挙の実施

### [企画調整委員会]

1. 住宅改修ワーキンググループの運営：他施設への協力を依頼。1 件の医療機関から協力を得られることになっている
2. 特別支援教育ワーキンググループの運営：江別市、北海道大学、札幌医科大学、文教大学のスタッフで運営中
3. 5 カ年戦略（IT 機器、福祉機器）への対応：他部局と協力できる体制を検討、準備中
4. 理事会で決議された議案への対応：随時対応を行っている

## [規約検討委員会]

1. 既存の規約・規程の整理
2. 協会員＝士会員に関する調査
3. 定款とその他規程とのすり合わせ

## 【特設委員会】

### [災害対策委員会]

1. 災害対策基金への積み立てを行った
2. 災害対策マニュアルについては未完成の状況
3. 協会災害訓練への参加
4. 協会災害研修会等への参加
5. 災害リハビリテーション推進協議会への参加：会議8回、研修会1回開催
6. 東日本台風被害支援金を日本作業療法士協会へ拠出

### [認知症施策推進委員会]

#### 1. 人材育成事業

- ・ 重点課題研修「介護保険領域・生活期における認知症の人への支援 北海道での支援の実際」  
令和2年1月18日（土曜日） 池田 望 氏（札幌医科大学保健医療学部）、米坂 公基 氏  
（千代田リハビリテーションセンター）、宮嶋 涼 氏（札幌佐藤病院）、若井 亜矢子 氏  
（札幌リハビリテーション専門学校）、佐藤 和彦 氏（コーディネーター、恵庭市役所）  
参加者：45名
- ・ 認知症アップデート研修（認知症サポーター養成講座包含）  
札幌開催：令和元年8月31日（土曜日） 参加者：23名  
小樽開催：令和元年10月19日（土曜日） 参加者：17名
- ・ 第50回北海道作業療法学会でのワークショップの開催  
「認知症をもつ人に対する作業療法 ～“本人の視点”を生かした作業療法を考える～」参加者：  
105名

#### 2. 調査事業

- ・ 北海道各市町村における認知症施策の実施及び作業療法士の関与状況の継続調査
- ・ 認知症カフェに対する調査

#### 3. 広報・啓発事業

- ・ 道士会ニュースに関連記事の掲載（年6回、毎号掲載）
- ・ 家族会連携として道士会ニュースにコラム「OTにひまわりの種をまく」（年4回掲載）
- ・ 自治体等関係機関連携として北海道、札幌市、家族会への挨拶と資料提供・情報収集の実施

・札幌市地域保健関係職員研修「認知症のリハビリテーション支援について」～できることに目を向けた生活行為を続けるためのヒントについて～（札幌市保健福祉局保健所から依頼、感染症対応で中止）

・「RUN伴」に対する普及啓発

#### 4. その他

・日本作業療法士協会認知症の人の生活支援推進委員会議（東京）出席：令和元年11月9日（土曜日）～10日（日曜日）

#### [MTDLP 推進委員会]

1. MTDLPの実践力向上に向けた研修会の実施：書き方研修の実施
2. 第50回北海道作業療法学会学術大会でのMTDLPに関するワークショップの開催：啓発事業の一環として実施。精神領域事例や小児領域事例を含めた実践事例の紹介

#### 【支部連絡協議会】

1. 支部連絡協議会の開催：2回
2. 各支部の年度活動計画・報告、年度予算計上・決算報告及び活動状況の集約と調整
3. 理事会と各支部の連絡調整
4. 各部局・委員会と支部間の連絡調整
5. 各部局が立案した事業の把握および連携
6. 地域作業療法推進事業の把握および調整
7. 生活行為向上マネジメント講習会の協力開催

#### [札幌支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議3回実施、ブロック連絡会議数回、ブロック研修会・交流会の開催
3. 札幌支部施設間連絡会の開催
4. 広報誌の発行（年1回）
5. 道士会主催支部企画講習会、現職者共通研修会、現職者選択研修の運営
6. ミニさっぽろ・いきいき福祉フェア、医団協パネル展・OT啓発活動
7. 出張講座への講師派遣数回
8. 外部関係機関への会員派遣
9. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、札幌市介護予防自立支援事業への参画

#### [石狩支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理

2. 支部役員会・懇親会（新人歓迎会）の同日開催（春・冬）、支部3役会議（秋）支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行3回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の運営協力
5. 千歳健康祭りへの参加、北広島元気フェスティバル参加、石狩市いきいきフェスティバルへの参加、地域包括との意見交換会
6. 石狩地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への会員派遣
7. 地域作業療法推進事業
8. 地域包括支援センター、市町村担当との連携（石狩支部ニュースの送付）、地域ケア会議への参加（新篠津村）、地域包括ケア会議専門部会参加（恵庭市）、市町村の実態把握、市町村の新総合事業に向けての協力、組織化

#### [空知支部]

1. 会員情報の集約（メーリングリストの作成管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行2回、役員用掲示板の管理、支部交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修の運営協力
5. 外部関係機関への会員派遣
6. MTDLP研修の運営協力
7. 砂川市立病院祭りへの参加、啓発活動の企画 岩見沢健康まつりへの参加
8. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握各市町村との連携、各市町村地域ケア会議参加

#### [後志支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回、現職者共通研修会の運営協力
5. いきいき健康祭り、地域イベント活動への参加
6. 後志地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

#### [日胆支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部総会、地区報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌発行、新人歓迎会・懇親会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 1 回、現職者共通研修会の運営協力
5. ひだか健康まつり・リレーフォーライフ事業・子育て応援 EXPO・健康フェスタとまこまい・とまこまいキッズタウン 2019 への参加
6. 西胆振地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握

#### [道南支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部役員会 2 回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 3 回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営 2 回、現職者共通研修会の運営 4 回、MTDLP 実践者研修会の開催 1 回
5. OT の日啓発事業の企画運営、NPO 祭りの参加回
6. 各病院・施設における地域支援事業の把握、会員間における医療・介護・保健・福祉ネットワークづくり
7. 南渡島地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣、各団体後援協力
8. 地域作業療法推進事業：・地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加（鹿部町）、知内町介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）、函館市介護予防事業への作業療法士派遣（HARP）

#### [道北支部]

1. 会員情報の集約（名簿作成、会員及び各部用 ML の作成・管理）、支部財務管理
2. 支部報告会、支部役員会 5 回、支部内各部会議の開催
3. 広報誌の発行 6 回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営
5. 旭川市健康まつり・稚内ふくしフェスタ、OT の日啓発活動の企画運営、他地域イベント活動への参加
6. OJT 研修会・MTDLP 講習会運営援助
7. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業：支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、旭川市地域リハビリテーション活動支援事業への参画（HARP へ依頼）、鹿更生園（小平町）活動支援事業への派遣

#### [十勝支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部内会議、ブロック会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会の開催

4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営、現職者共通研修の運営協力、全道研修会の企画運営
5. 福祉フェスティバルへの参加
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣（帯広市介護予防事業）
7. 地域作業療法推進事業への参画

#### [根釧支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部報告会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行、新人歓迎会・交流会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営3回、MTDLP実践者研修の運営協力
5. 市民向け自助具講習会の開催（釧路高専と共催）
6. くしろ健康まつり・厚岸町障がい者（児）ふれあいフェスティバル・釧路車いすマラソン大会、他地域イベント活動への参加
7. 外部関係機関への派遣
8. 地域作業療法推進事業：地域包括支援センターへの挨拶や意見交換会、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議参加、市町村予防事業への指導・協力

#### [網走支部]

1. 会員情報の集約、支部財務管理
2. 支部意見交換会、支部内会議の開催
3. 広報誌の発行3回、新人歓迎会・懇親会の開催
4. 道士会主催支部企画講習会の企画運営1回
5. 支部事業部主催研修会の開催、健康まつりへの参加、高校への進学出前講座の開催
6. 地域リハビリテーション推進会議、外部関係機関への派遣
7. 地域作業療法推進事業、支部内での市町村担当者会議、市町村の実態把握、地域ケア会議への参加、介護予防事業へのOT派遣